

事業者向け

放課後等デイサービス自己評価表

配布18名(うち回答18 未回答0)

わかば第1学童クラブ

		チェック項目	はい	わからない	いいえ	備考
施設・設備の整備	①	利用定員は、指導訓練室などの面積との関係で適切であるか	14	4		・ギリギリな感じではある
	②	職員の配置人数は適切であるか	15	3		・多い時と少ない時がある
	③	子どもにとって危険が伴うような、施設や備品の損壊・故障などはないか	15	3		・ホール内に冷蔵庫があるのは疑問 ・あれば都度修理
	④	ガラス窓や照明器具などの破損によるガラスの飛散が起こらないような対策をとっているか	16	1	1	・窓は飛散防止フィルム貼っている、電気は？
	⑤	子どもの行方不明や、部外者の勝手な侵入が起こらないような対策をとっているか	9	5	4	・部外者の勝手な侵入に関しては対策不十分 ・子どもが出入口に行く際は目を離さないようにしている。人が来たときは自由に出入りできてしまう？
活動の全体状況の整備	⑥	虐待防止委員会の設置、虐待防止責任者の選定をしているか	12	6		・委員会があるのか、責任者がどなたかわからない
	⑦	虐待防止マニュアルを策定するとともに、虐待を防止するための研修を行なっているか	15	2	1	
	⑧	防火・防災マニュアルを策定するとともに、火災・地震に対する訓練を定期的に行っているか	16	2		・訓練定期的には出来ていない ・十分に行えてはいない
	⑨	感染症予防マニュアルを策定しているとともに、感染症を予防する為の研修を行っているか	15	2	1	・対策はしているが、研修が全員ではない ・研修受けた職員からパートへ…などはできている
	⑩	個人情報保護指針を策定しているとともに、個人情報の取り扱いに十分に配慮しているか	14	3	1	
	⑪	子どもの事故やケガにつながるおそれを感じたときは、責任者に伝えているか	18			
	⑫	食物アレルギーのある子どもには、保護者の指示にもとづいて対応しているか	17	1		
実践的な力量の向上	⑬	子どもの活動の記録を書いているか	18			
	⑭	子どものことがわからないと感じたとき、早わかりしようとせず、(どうしてなのか)と、自らに問い続けているか	16	2		
	⑮	子どものことがわからないと感じたとき、傍観するのではなく、働きかけて変化をつくりだし、理解しようとしているか	17	1		
	⑯	子どものことがわからないと感じたとき、独りよがりの判断をせず、ほかの職員に意見を聞くなどしているか	17	1		・まだ他の人の意見を聞くのが難しいパートなどには配慮必要
	⑰	子どもの“問題行動”に出会うとき、その内側に、その子の本当の願いが隠されていると考えて、内面を探ろうとしているか	16	2		
	⑱	子どもの“問題行動”に出会うとき、わが身に引き寄せるなどして、その理由を共感的に理解しようとしているか	15	3		
	⑲	子どもの表面的な事がらを並べるのではなく、働きかけて肯定的な事実をつくりだし、それを意味づけようとしているか	13	5		
	⑳	子どもの育ち(人格の形成)には、その子固有のテンポがあるということを押さえて、子どもを理解しようとしているか	17	1		
	㉑	子どもの発達には、ひたすら前進するのではなく、新しい矛盾を抱え込むと押さえて、子どもを理解しようとしているか	16	2		

	②②	学校で頑張ってきたあとの活動という、生活の流れを意識して、子どもを理解しようとしているか	18			
	②③	大人の育ちに応じてしか子どもは見えてこないという、自省的な意識をもって、子どもを理解しようとしているか	10	8		・わからない
	②④	遊びや生活をつづじて、子どもの気持ちの育ち(人格の形成)をはかっていくことを意識して、子どもに働きかけているか	17	1		
	②⑤	子どもの育ちの状況を確認、保護者の意見も聞いて、個別支援計画書を半年に1回は見直し、作成しているか	9	9		・正規職員ではないのでわからない ・職員が作成している ・スタッフ全員への共有方法は皆で考えたい
	②⑥	会議や研修会を定期的に関いて、子ども理解や実践などについて深めたり、学習したりしているか	17	1		・以前より研修や報告会は少なくなっている。時間を作らないと難しい
	②⑦	子ども理解や実践についての、外部の学習会や講座に参加して、見識を高めようとしているか	13	2	3	・参加した人から情報を聞く、パートの会議で共有するなど出来ている
保護者との関係づくり	②⑧	子どもが入会するとき、運営規定、活動の内容、利用者負担などについていねいに説明しているか	5	13		・多分している ・正規職員ではないのでわからない
	②⑨	保護者の言葉の内側に込められた思いや願いを汲み取ろうとして、懇切に応じているか	13	5		・直接会う機会が減っているので、難しい部分もある
	③⑩	保護者との面談を行うなどして、子どもについての状況や意見などを聞き取っているか	13	5		
	③⑪	保護者に子どもや活動の状況を報告する機会をつくっているか	15	3		
	③⑫	保護者から子どものことでの悩みなどの相談があったときは、懇切に応じているか	15	3		
	③⑬	会報などを定期的につくって、活動の状況を知らせたり、保護者の交流を促したりしているか	13	5		・会報はつくれているが保護者の交流は不明
	③⑭	苦情などの意見が寄せられたときは、懇切に対応し、改善策をすみやかに伝えているか	14	4		
	③⑮	保護者が自主的に作る父母会に協力するなどして、保護者同士のつながりをつくっているか	5	12	1	・コロナのため難しい
	③⑯	親子・家族行事などを行なって、保護者・家族が交流を深める機会をつくっているか	5	12	1	・コロナのため難しい
関係者・関係機関との連携	③⑰	障害児相談支援事業所の担当者と連絡を取っているか	5	13		
	③⑱	学校の年間計画、行事、下校時刻、送迎の方法などを確認しているか	16	2		・変更の時など、こまめな確認は必要
	③⑲	学校の行事などに参加して、学校での子どもの様子を把握しようとしているか	8	4	6	・コロナで今は出来ない(受け入れが実施されない)
	④⑰	学校と支援会議などを行なって、子どもについて意見の交換を行なっているか	5	13		・必要に応じてやっている
	④⑱	協力してもらえる医療機関と協定を結んで、子どもの病気やケガなどに関する緊急の事態に対応できるようにしているか	5	12	1	
	④⑲	学校入学前や卒業後の諸機関と必要に応じて連絡を取っているか	5	12	1	
	④⑳	地域住民に活動を理解してもらうための手立てを取っているか	8	10		・コロナのため十分ではないが
	④㉑	障害のある子どもの放課後活動に関する連絡会に参加して、情報を共有したり、活動に協力したりしているか	7	11		